

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上里地区防火水槽設置事業	湯前町	4,400,000	4,400,000	総事業費 6,412,706

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上里地区防火水槽設置事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		湯前町				
交付金事業実施場所		湯前町上里地内				
交付金事業の概要		<p>住民の防災意識の普及・啓発、自主防災組織等の結成、総合防災訓練の実施・参加を促すことで、住民の自主防災力の向上を図り、より安全安心なまちをつくっていくため、計画的に防火水槽を整備しています。今回、歩道整備事業で支障となった耐震性防火水槽と同等の水槽の整備に交付金を充当します。</p> <p>耐震性防火水槽 1基 40m<sup>3</sup> 空地用 L7300×W3400×H2400</p>				
総事業費		6,412,706		交付金充当額	4,400,000	
				うち文部科学省分		
				うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標		<p>国道219号の歩道整備事業により、上里地区の既設防火水槽が支障物件となり移設を余儀なくされることとなりました。現状でも消防力が不足気味な地域であるため、少なくとも消防力の現状維持は不可欠です。しかし、補償の費用算定は価値補償であることから、建設から数十年が経過している既存水槽の補償額では新設ができない状況です。そのため、当該交付金を活用し、既存防火水槽と同じレベルの内容量40トンの防火水槽を設置し、消防力を維持します。</p>				
交付金事業の成果指標		<p>現在91基を設置している防火水槽を、老朽化したものを更新しながら、H32までに92基に増やします。</p> <p>※今年度は、当事業で整備する防火水槽に加え、2基を整備するが、いずれも既存水槽の更新。</p>				
交付金事業の成果及び評価		<p>以前の防火水槽の内容量は40トンで、これまでの消防力を維持するために同レベルの40トンの防火水槽を設置しました。湯前町の中でも住宅密集地ということもあり、水利を確保することで初期消火及び延焼防止が期待でき、地域住民の安心安全な住環境を創設できました。なお、成果指標に対する評価は、平成32年度末時点での再評価を平成33年度に行います。</p>				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方	契約金額	
防火水槽設置工事		指名競争入札		(有)ふじもと	6,412,706	
		計			6,412,706	
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無			無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	平成33年度